



保護モードの設定

この章では、Cisco Nexus 4001I/4005I Switch Module for IBM BladeCenter でサポートされている保護モード機能について説明します。内容は、次のとおりです。

- 「保護モードの概要」 (P.32-1)
- 「保護モードの設定」 (P.32-2)
- 「保護モードの確認」 (P.32-3)

保護モードの概要

デフォルトでは、保護モードはディセーブルであり、スイッチは BladeCenter シャーシの Advanced Management Module (AMM) によって制御されます。保護モードをイネーブルにすると、AMM はスイッチを制御できなくなります。AMM によるスイッチの制御がロックアウトされると、サーバ管理者は AMM からスイッチを管理できません。保護モードがイネーブルになっている場合、AMM は次のスイッチ機能を制御または設定できません。

- IP アドレス
- 外部ポートの管理
- 外部ポートを通じてトラフィックを受信している状態でのスイッチの管理
- スイッチが製造時のデフォルト設定に戻ることを防止する機能



(注)

スイッチの物理的な破損を防ぐため、AMM は、スイッチが保護モードに設定されていても、温度過昇または過電流状態を検出するとスイッチを再起動または切断できます。

保護モードには、次の注意事項および制限事項が適用されます。

- 次のコマンドをスイッチで入力する前に、AMM で保護モードをイネーブルにする必要があります。AMM で保護モードをイネーブルにする方法については、AMM 製品のマニュアルを参照してください。
- スイッチで保護モードが動作可能になると、AMM はそのスイッチを構成または管理できません。
- 保護モードを動作可能にするには、スイッチをリポートする必要があります。
- スイッチを別のシャーシに移動しても、保護モードは有効になったままです。
- パスワードを失った状態から回復するには、スイッチの外部シリアルポートから直接アクセスする必要があります。

保護モードの設定

保護モードをイネーブルにして、スイッチが AMM によって制御されないようにする手順は、次のとおりです。



(注) 次のコマンドをスイッチで入力する前に、AMM で保護モードをイネーブルにする必要があります。AMM で保護モードをイネーブルにする方法については、AMM 製品のマニュアルを参照してください。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch # configure terminal	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config) # platform chassis-management protected-mode	スイッチをイネーブルにして、AMM からの制御をブロックします。
ステップ 3	switch(config) # copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。
ステップ 4	switch(config) # reload	スイッチをリロードします。 (注) リロードが完了するまで待ってください。
ステップ 5	switch(config) # exit	グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。
ステップ 6	switch # end	特権 EXEC モードに戻ります。

次に、AMM で保護モードをイネーブルしてから、スイッチで保護モードを設定する例を示します。

```
switch(config)# platform chassis-management protected-mode
The switch has been configured to disallow the Chassis management module from operational
control. The switch must be rebooted for this feature to take effect. Use the "reload"
command from CLI.
switch(config)# copy running-config startup-config
[#####] 100%
switch(config)# reload
WARNING: There is unsaved configuration!!!
WARNING: This command will reboot the system
Do you want to continue? (y/n) [n] y
switch(config)# exit
switch # end
```

保護モードをディセーブルにして、スイッチの制御を AMM に返すには、**no platform chassis-management protected-mode** コマンドを入力し、スイッチをリブートします。次に、AMM から保護モードをディセーブルにします。

保護モードの確認

保護モードがイネーブルになっていることを確認する手順は、次のとおりです。

コマンド	目的
switch # show chassis summary	<p>次のリポートで保護モードがイネーブルになることを確認します。</p> <p>(注) スイッチをリポートしてから、show chassis summary ユーザ EXEC コマンドを入力して保護モードが動作可能であることを確認します。</p>

次に、スイッチで保護モードが設定されていることを確認する例を示します。



(注)

次の例では、*MM Prot Mode Support* は *yes* に設定されています。これは、AMM で保護モードが設定されていることを示します。

次の例では、*MM Prot Mode Support* は *yes* に設定されています。これは、スイッチで保護モードが設定されていることを示します。

```

switch# show chassis summary
Switch Slot ID      : 10
Chassis type       : IBM BladeCenter   BC-H
Chassis ID         : KQFXBLB
Active MM in Slot  : 1

MM Stack Mode Support : No
MM Prot Mode Support : Yes
MM Prot Mode Status  : Operational
MM Prot Mode Config  : yes
Ext Mgmt/Ext Ports  : Disabled

Switch IP Acquisition : static
Amm IP Acquisition   : static

VPD Def      IP Addr : 10.0.0.1
VPD Def      IP Mask : 255.255.255.0
VPD Def      Gateway : 0.0.0.0

VPD Curr     IP Addr : 10.0.0.1
VPD Curr     IP Mask : 255.255.255.0
VPD Curr     Gateway : 0.0.0.0

```

